

チェックします 3月定例会

議案の質疑討論

質疑

平成31年度一般会計当初予算

◇大山開山1300年祭事業の今後

【岡田議員】 予算が平成30年度の2分の1、一過性で終わらせてはいけない。
イベントがあればよいというものではない。精査を広域で行い、残すものは残していきたい。

【観光課長】 何もなかったではいけないが、



大山さんの御幸行列

◇エコトラック事業

【米本議員】 数年前から予算が計上されているが事業の成果は。

【観光課長】 カヤックや自転車を楽しむ旅として広がりつつあり、皆生・大山エリアが、ジャパンエコトラックのルート第1号として認定されている。

また、カヤックなど、活用されているが、成果は今後示していきたい。

◇とっとりバーガーフェスタ

【米本議員】 継続するメリットは。

【観光課長】 集客は3万人あった。昨年はじめて町の観光ブースを出した。



夏場の活用も期待される大山スキー場

◇スキー場のグリーンシーズン活用

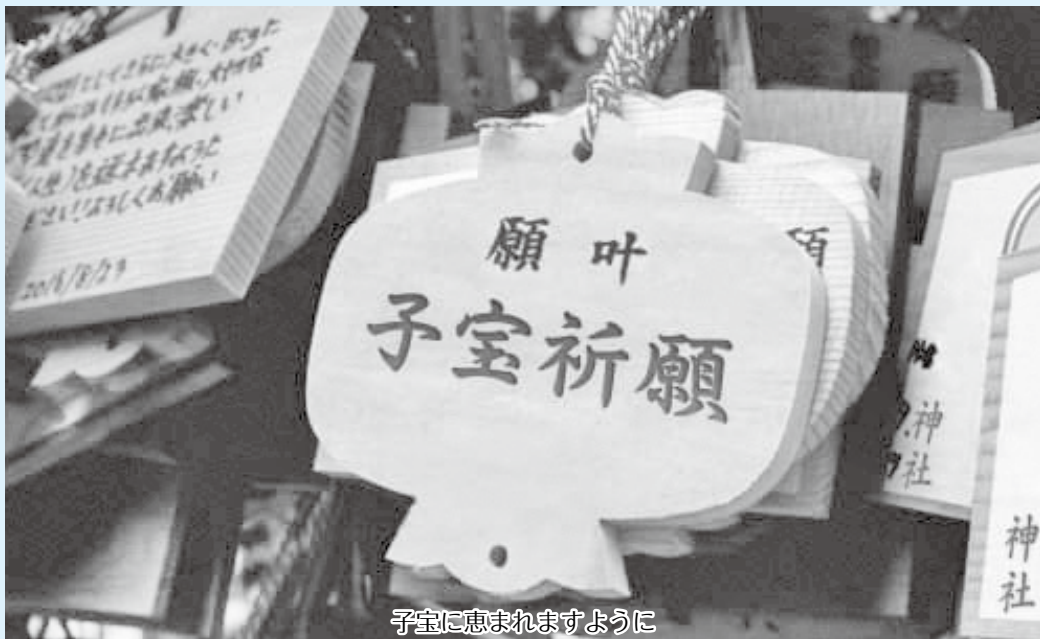
【大杖議員】 平成30年度は事業が行われていないが、再度予算が計上されている。
具体的な事業があるのか。

【観光課長】 平成31年度は、事業者から提案があり、内容も聞いています。
プロポーザルで公募して決めたい。

◆不妊治療費助成の拡充

【池田議員】新しく計上された、男性不妊治療費の詳細は。

【いづも課長】手術代約20万円のうち県補助は15万円で、不足分の5万円を助成する。



子宝に恵まれますように

◆デマンドバス事業

【吉原議員】予約がむずかしいと聞くが、委託内容に改善の余地はあるか。

【企画課長】デマンドバス5台に対して登録者1000人以上いる。公共交通会議の中でも検討したい。

◆ホームページ全面リニューアル

【加藤議員】260万円計上されているがリニューアル内容は。

【総務課長】今年度でできなかったスマートフォン対応を行いたい。また、英語・韓国語・中国語（2種類）のインバウンド対応を行いたい。



見やすさに期待

◆こうれい上屋付多目的広場の整備

【西尾議員】解体費も含めて9800万円計上されているが、今後の管理課と建設規模は。

【財務課長】規模は20メートル×20メートルを想定。

【町長】中山の上屋付多目的広場と同様なものを想定している。財務課で管理する。



中山の上屋付多目的広場

質疑

平成31年度一般会計当初予算

◇※クラウドファンディング活用補助金

【大森議員】事業内容は。

【企画課長】クラウドファンディングにより調達した資金の2分の1を補助。

上限は50万円。最低調達額は10万円。目標額を達成したかしていないかで判断。補助対象の限定をなくし、まちづくり事業も対象となる。

◇起業支援補助金

【近藤議員】事業概要は。また、何件程度の見込みか。

【企画課長】町内既存の施設を改修して創業する人を支援する。

補助率2分の1、上限500万円、件数は2件の見込みである。

◇老人クラブ活動助成金

【加藤議員】新年度は、県補助と町単独補助分が同じ割合だが、二元に戻した理由は。

【福祉介護課長】平成30年度は1割カットで

実施したが、活動に支障をきたすということで、従来どおり県と同額の町補助金を計上した。

※クラウドファンディングは不特定多数の人がインターネットを経由して、賛同する他の人々や組織に資金の提供を行うこと



健康づくりになるグラウンドゴルフ

討論

○反対

【大森議員】

通常国会でまだ決定していない消費税増税事業対策に加担するようなプレミアム商品券販売事業はすべきでない。

また、同和対策関連事業は一般施策に移行するか、廃止を検討すべきである。

【近藤議員】

企画課内に「営業企画室」を設けるとしている。数字で評価されがちな「営業」という言葉が示されることに違和感を感じる。

また、設置に関して行政内部、職員間の議論もなされていない。町長の独断で決定されることが何よりも問題だ。

○賛成

【西山議員】

新たに始まる防災制度の実現も含めた画期的な予算であり、安全安心な大山町の将来を思い後世のために汗をかく予算である。

【加藤議員】

町長の手腕と予算に反対することは別の問題である。

問題点を指摘しつつ予算を通すことで、慎重に事務執行を望む意見があることを認識してもらいたい。

質疑

条例の制定と改正

◆ふるさと応援基金

【門脇議員】条例改正は、寄付金の使途目的のかたよりが大きくなったためか。

【町長】今後も今まで寄付をいただいたご意向に沿った使い方をしていく。

【企画課参事】4つの使途項目が掲げられている以上、継続するときにらにかたよりが拡大する。早めの対処がよい。

【加藤議員】改正後は納

税制度に特化したものになるのか。

【企画課参事】改正前についてもふるさと納税制度に準拠した基金である。

【近藤議員】寄付金は「何にでも使ってよい」ではなく、使途目的は残すべきではないか。

【町長】「寄付金の使途が選べる」から「大山町のための施策に使うべく」に変える条例提案である。

◆防災監の配置

【野口昌議員】防災監に期待することは。

【町長】住民の防災意識の醸成、自主防災組織の育成である。災害時の助言に活躍を期待する。

◆文化財室を観光課へ

【門脇議員】文化財保護に関する事務が教育委員会から町長部局に移すメリットは。

【町長】メリットは観光活用が進むこと。今まで開発と保護の担い手が分かれていたことが解消されることである。

◆なかやま温泉の指定管理

【吉原議員】指定管理者が変わるがサービスの低下にならないか。

【地籍調査課長】雇用など、担当職員と連携していく。

【野口俊議員】従業員の移行はないのか。

【地籍調査課長】継続雇用についてはこちらからも伝えている。

質疑

温泉事業特別会計予算



人気の高い返礼品



美肌の湯なかやま温泉